

平成22年度公共事業事前評価調書（簡易型）

（土石流被害の防止による評価）

（区分） **国補** 県単

事業名	治山事業 [ 復旧治山事業 (国補) ]	事業箇所	韮崎市 清哲町 水上	地区名	ならお 奈良尾	事業主体	山梨県																		
<p>(1) 事業概要</p> <p>① 課題・背景                      本箇所は、韮崎市清哲町に位置し、一級河川釜無川へ流入する堅沢川の左岸部にあたる。                      近年の集中豪雨により溪流の荒廃が顕著となり、下流の水上地区への土砂流出のおそれが高まったため、土砂流出防止対策を早急に実施し、保全対象の保護を図る必要がある。</p> <p>② 整備目標・効果  <input type="checkbox"/> 主要目標 ○ 土石流被害の防止                      保全対象 人家 20戸                      市道 950m 林道 1650m                      緊急度・危険度 10 ≧ 10 点 ※                      被害軽減額 348 ≧ 340 百万円 ※                      (※：評価基準値)</p> <p><input type="checkbox"/> 副次目標 —</p> <p><input type="checkbox"/> 副次効果 —</p>				<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>① 公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） <input type="checkbox"/> 妥当・妥当でない</p> <p>・ 森林法第41条第1項に規定された「保安施設事業」に該当</p> <p>② 事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） <input type="checkbox"/></p> <p>・ 森林法第41条第3項の規定により都道府県知事が整備</p> <p>③ 経済妥当性 <input type="checkbox"/></p> <p>費用便益費 便益(B) / 費用(C) = 2.93 &gt; 1.0                      ・ 便益(B) = 722 百万円 ・ 費用(C) = 246 百万円</p> <p>④ 事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/></p> <p>・ 流域内は治山堰堤2基が設置されているが満砂となっている。なお、砂防等同等施設の計画はない。</p> <p>⑤ 整備手法の有効性 <input type="checkbox"/></p> <p>・ 保安林機能の回復を図る目的から治山事業による整備が有効</p> <p>⑥ 環境負荷への配慮 <input type="checkbox"/></p> <p>・ 切土盛土面は緑化し、裸地を残さない                      ・ 使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を低減する</p> <p>⑦ 事業計画の熟度 <input type="checkbox"/></p> <p>・ 地元韮崎市からの強い要望あり</p> <p>&lt; 妥当性評価 &gt;</p> <p>・ 7項目全て妥当であることから、妥当と判断する</p> <p>(4) 事業間優先度評価</p> <p>・ 貢献度ランク：a、副次効果ランク：2 ∴ 優先度評価：I</p> <p><b>総合評価</b> <input type="checkbox"/></p> <p>・ (3) 及び (4) の結果から実施</p>																					
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>① 整備内容 谷止工 6 基 山腹工 1.1 ha</p> <p>② 整備期間 平成23年度～平成26年度</p> <p>③ 総事業費 約 273 百万円 (国費 136 百万円 (5/10) 県費 137 百万円 (5/10))</p> <p>④ 全体計画</p> <table border="0"> <tr> <td>平成23年度</td> <td>谷止工 2 基</td> <td>60 百万円</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>谷止工 2 基</td> <td>68 百万円</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>谷止工 2 基</td> <td>69 百万円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>山腹工 1.1 ha</td> <td>76 百万円</td> </tr> </table> <p>⑤ 既整備内容・期間・事業費</p> <table border="0"> <tr> <td>昭和56年</td> <td>谷止工 1 基</td> <td>15 百万円</td> </tr> <tr> <td>昭和59年</td> <td>谷止工 1 基</td> <td>12 百万円</td> </tr> </table>				平成23年度	谷止工 2 基	60 百万円	平成24年度	谷止工 2 基	68 百万円	平成25年度	谷止工 2 基	69 百万円	平成26年度	山腹工 1.1 ha	76 百万円	昭和56年	谷止工 1 基	15 百万円	昭和59年	谷止工 1 基	12 百万円	<p>【事業位置図等】</p> <p style="text-align: center;">省略</p>			
平成23年度	谷止工 2 基	60 百万円																							
平成24年度	谷止工 2 基	68 百万円																							
平成25年度	谷止工 2 基	69 百万円																							
平成26年度	山腹工 1.1 ha	76 百万円																							
昭和56年	谷止工 1 基	15 百万円																							
昭和59年	谷止工 1 基	12 百万円																							